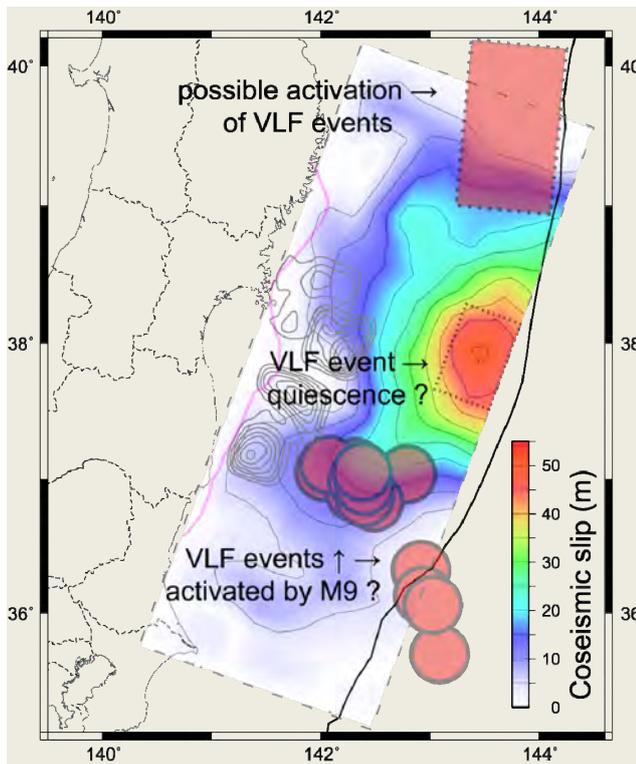


7. 東北沖におけるVLF eventの解釈



Coseismic slip (waveform inversion): Yagi & Fukahata (2011 GRL)
 Epicenter of VLF after M9 (6/1 to 11/1 in 2011): NIED (2011)

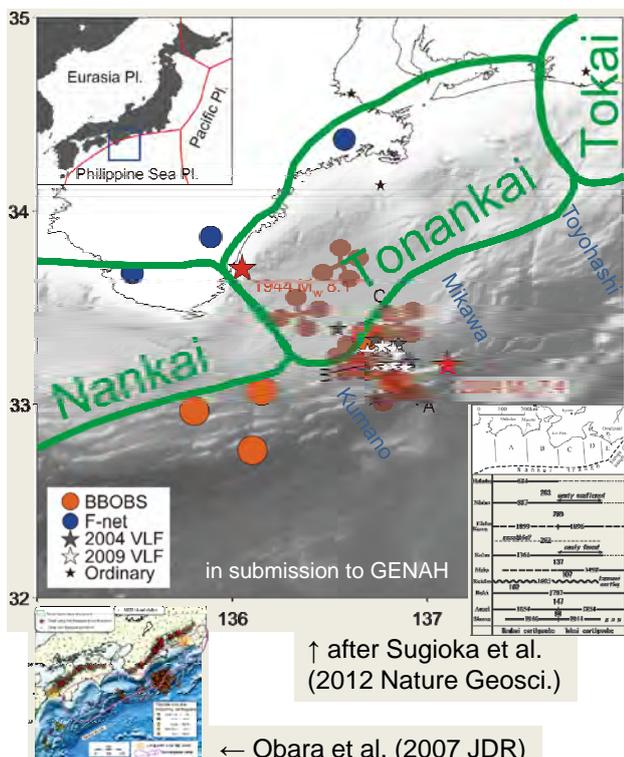
東北地方太平洋沖地震の発生後における超低周波地震の活動:

- 不活発 (静穏)化 @ 宮城沖
⇒ 強い固着域の中央部
- 活発化 @ 福島・茨城沖
⇒ 強い固着域の外縁部

✓ 超低周波地震活動の局所性:
 ⇒ プレート間固着の領域を反映
 ⇒ 摩擦特性が均質でも説明可能

✓ 超低周波地震のモニタリング:
 ⇒ 震源分布から強靱な固着域や外縁部を事前推定できる可能性

8. 東南海沖におけるVLF eventの解釈



東南海地震: 固着期間中だとすると

- 不活発 @ 三河沖
⇒ 強靱な固着域の中央部
- 活発 @ 熊野灘
⇒ 強靱な固着域の外縁部

✓ 東南海～南海のセグメント境界は、実際には、提案モデルよりも東側の可能性

✓ 豊橋沖の不活発: 東海～東南海のセグメント境界の固着が強靱

✓ **DONET** をはじめとする海底ケーブルの活用が有効的

Question (2):

- VLF event は、地震計だけではなく、地殻変動としても検知可能か？